小学校移転・統合に関する保護者アンケート（R8.7 月実施）

○実施概要

調査期間：　保育所　令和 8 年 7 月 13 日～7 月 31 日
小学校　令和 8 年 7 月 13 日～7 月 17 日
※小学校再依頼　令和 8 年 7 月 27 日～8 月 7 日

依頼者数：　保育・小学校保護者　496 人
うち　市内保育所（園）保護者　246 人
市内小学校保護者　250 人※保育所（園）保護者を除く

回答者数：　366 人　※回答率 74%
うち　保育所（園）保護者　183 人　※回答率 74%
小学校保護者　183 人　※回答率 73%

調査方法：　アンケート用紙を在籍保育・小学校を通じて配布・回収
※小学校のみ未回答者に再依頼　※グーグルフォーム（インターネット形式）

（結　果）

①　（居住地について）お住いの小学校区を選択してください（ひとつ選択）

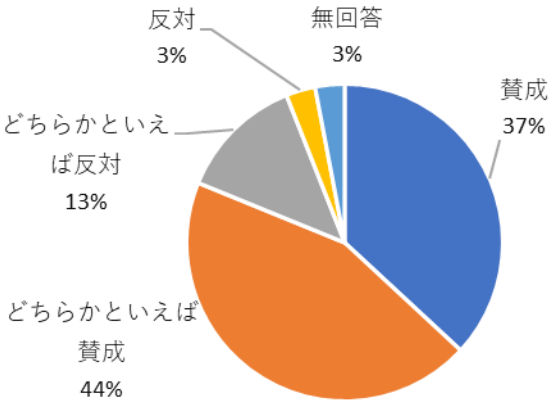
（対象者＝366 人　うち無回答 6 人）

小学校区	回答数	回答割合
下山小学校区	7人	2%
伊尾木小学校区	23人	6%
川北小学校区	53人	14%
土居小学校区	85人	23%
井ノ口小学校区	59人	16%
安芸第一小学校区	106人	29%
穴内小学校区	12人	3%
赤野小学校区	15人	4%
無回答	6人	2%
計	**366人**	**100%**

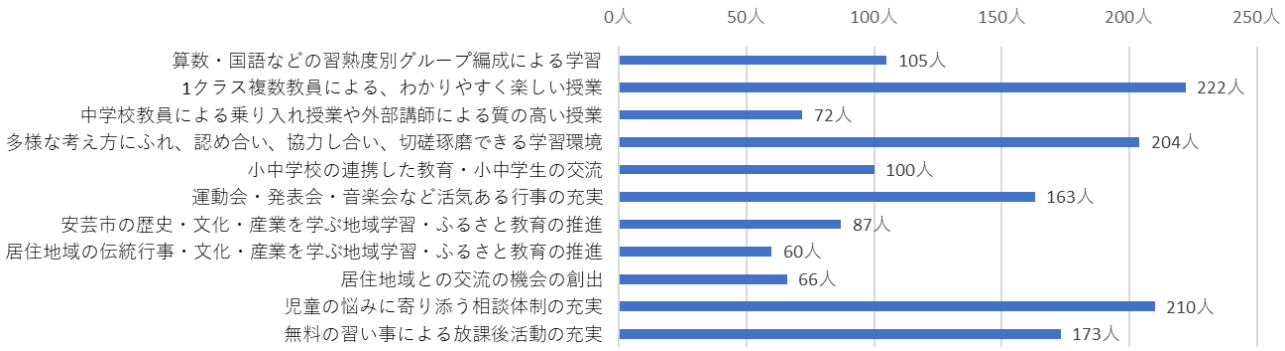
②　2校体制の方針（基幹校 1 校＋小規模特認校 1 校）についてどのようにお考えですか？（ひとつ選択）

（対象者＝366 人　うち無回答 11 人）

回答	回答者数	回答割合
賛成 （進めるべき）	135	37%
どちらかといえば賛成 （どちらかといえば進めるべき）	162	44%
どちらかといえば反対 （どちらかといえば進めるべきでない）	47	13%
反対 （進めるべきでない）	11	3%
無回答	11	3%
総計	**366**	**100%**

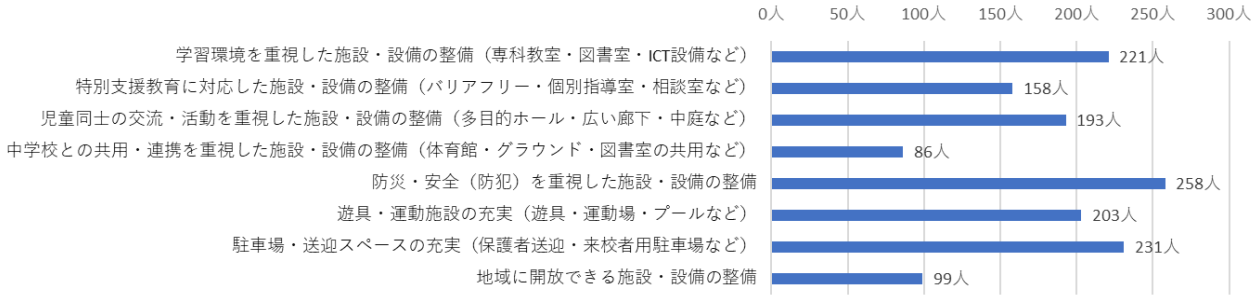


③（基幹となる 1 校について）どのような特色を求めますか（複数選択）
（対象者＝366 人　うち無回答 9 人）



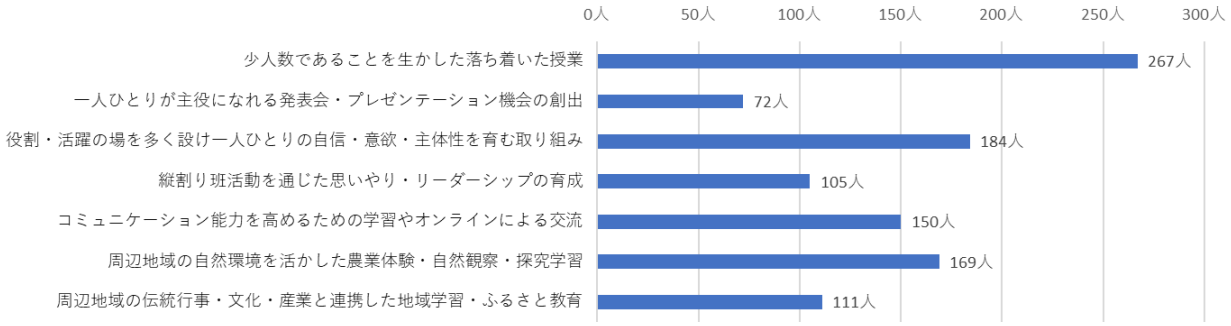
※その他 13 件　うち、求めていない旨の回答 2 人　ほか

④（基幹となる 1 校について）どのような施設・設備を重視しますか（複数選択）
（対象者＝366 人　うち無回答 11 人）



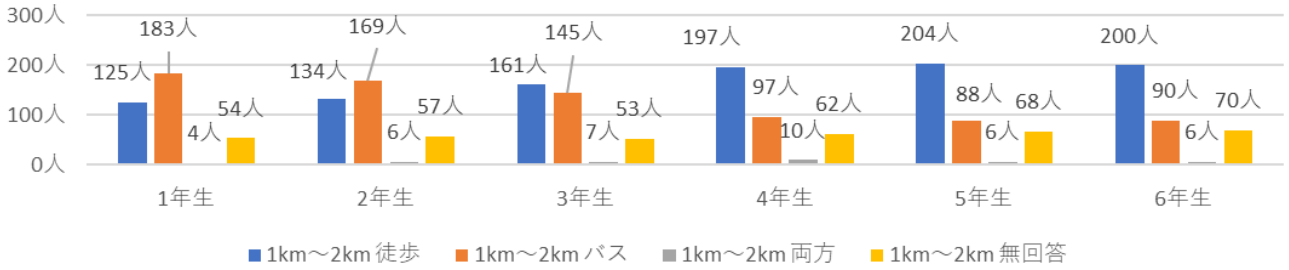
※その他 0 件

⑤（小規模特認校 1 校について）どのような特色を求めますか（複数選択）
（対象者＝366 人　うち無回答 14 人）

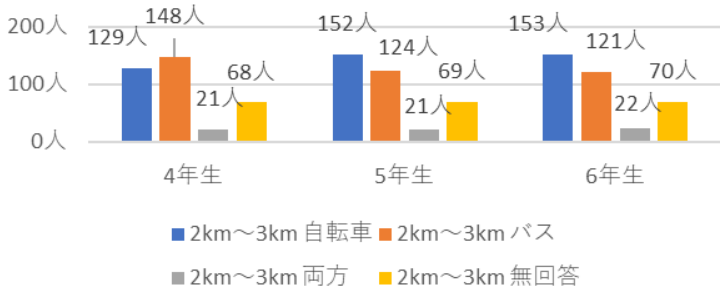


※その他 9 件　うち、必要ない旨の回答 2 人　ほか

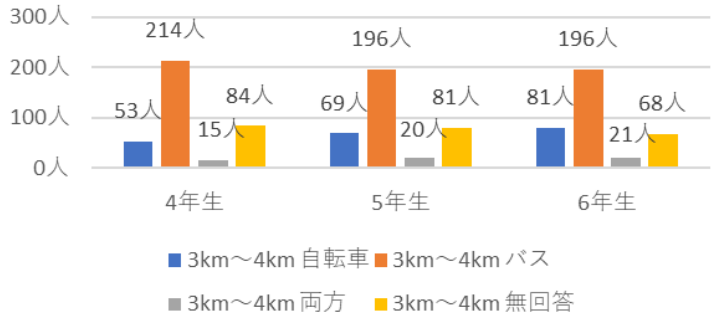
⑥ 通学距離 1km～2km の適正な通学方法を選択してください。(通学距離 1km までは徒歩を想定しています。)
(対象者＝366 人)



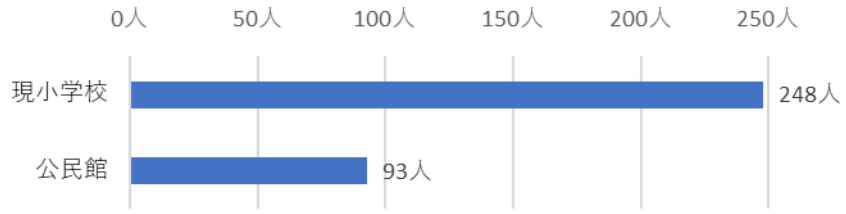
⑦ 通学距離 2km～3km の通学方法について、小学 4～6 年生の適正な通学方法を選択してください。(小学 1～3 年生はバスを想定しています。)
(対象者＝366 人)



⑧ 通学距離 3km～4km の通学方法について、小学 4～6 年生の適正な通学方法を選択してください。(小学 1～3 年生はバスを想定しています。)(通学距離 4km 以上は全員バスを想定しています。)
(対象者＝366 人)



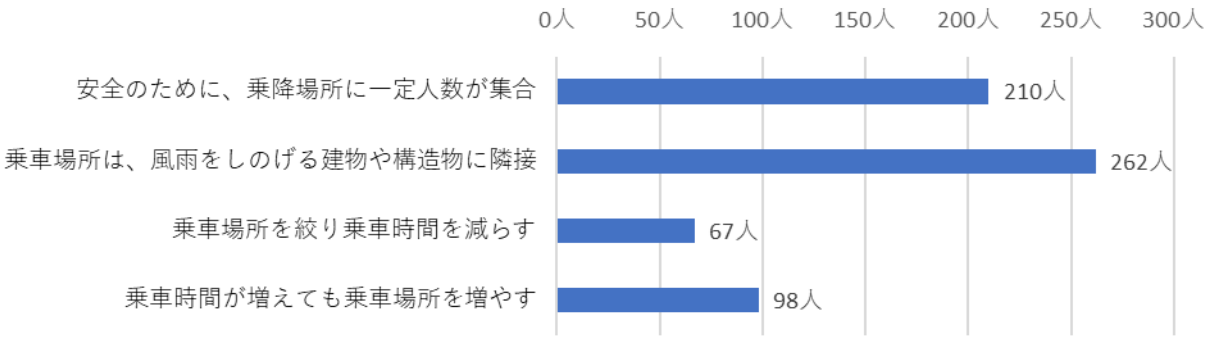
⑨ (スクールバスについて)発着場所についてのお考えを選択してください。(複数選択)
(対象者＝366 人　うち無回答 34 人)



※その他 56 人　うち、場所数を増やす旨 12 人、地域のバス停 7 人、安芸駅 4 人、自宅付近 4 人　ほか

⑩ （スクールバスについて）発着場所（運用）についてのお考えを選択してください。（複数選択）

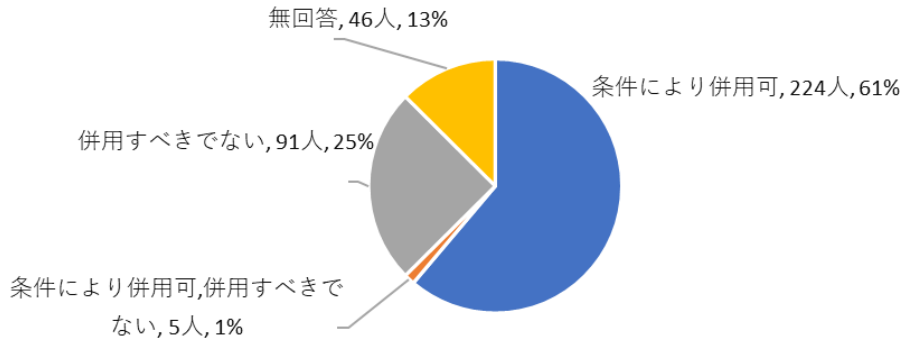
（対象者＝366 人　うち無回答 33 人）



※その他 0 件

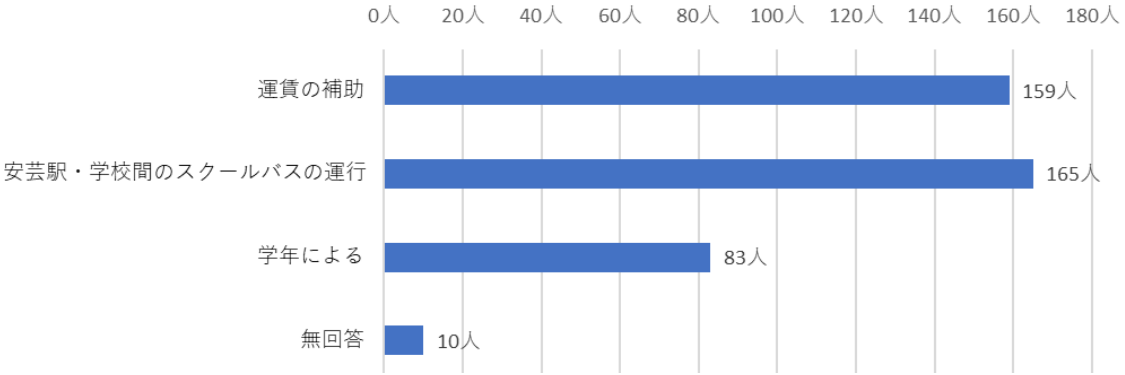
⑪ （スクールバスについて）基幹となる小学校への通学に「ごめん　なはり線」を併用することについてのお考えを選択してください。（複数選択）

（対象者＝366 人　うち無回答 46 人）



「ごめん・なはり線」の併用可の条件（複数選択）

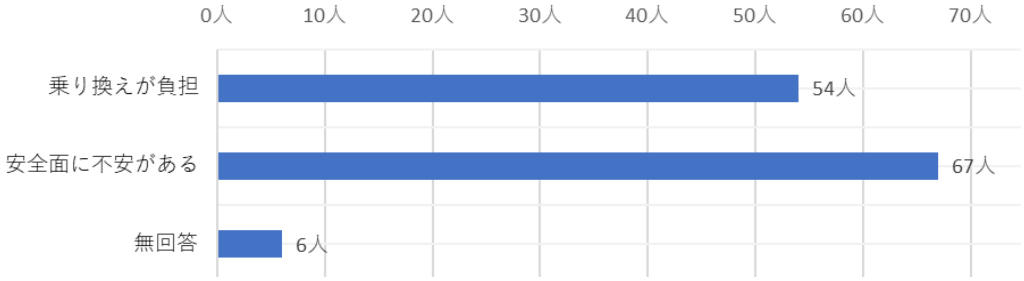
（対象者＝229 人　うち無回答 10 人）



※その他 0 件

「ごめん・なはり線」を併用すべきでない理由（複数選択）

（対象者＝96 人　うち無回答 6 人）

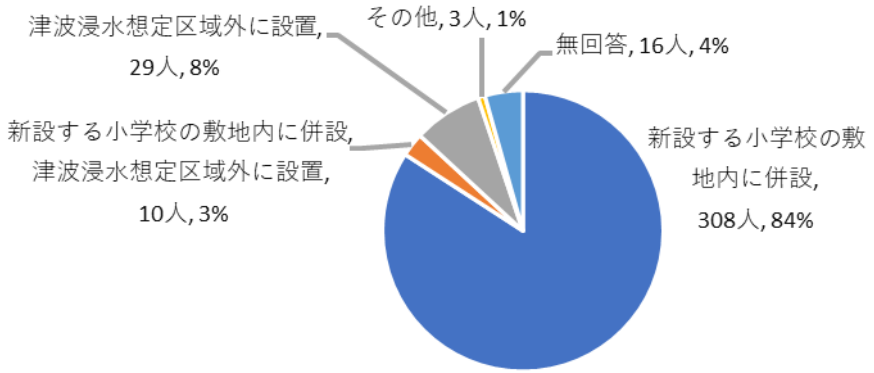


※その他 30 件　うち　乗り遅れに関するもの 3 人、運行ダイヤに関するもの 2 人、保護者の負担に関するもの 2 人、他に 2 人以上の回答なし

⑫ （放課後児童クラブ（学童）について）希望する設置場所はどこですか？（ひとつ選択）

※新設する小学校の敷地内に併設することを基本としています。

（対象者＝366 人　うち無回答 16 人）

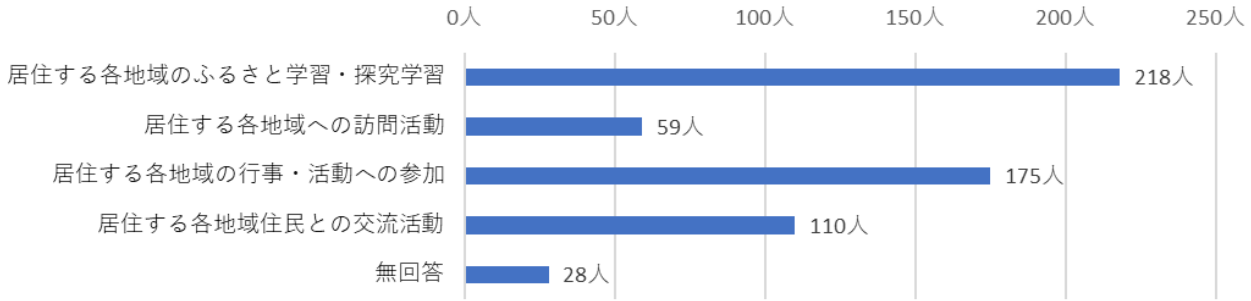


※その他に 2 人以上の回答はない。

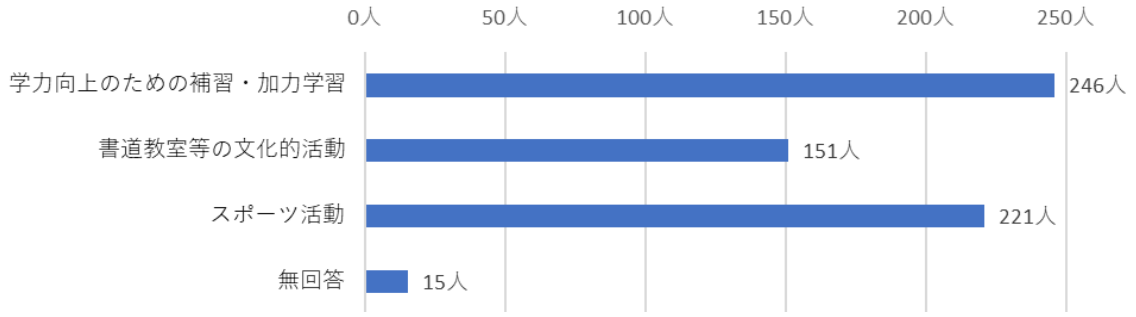
※「新設する小学校の敷地内に併設,津波浸水想定区域外に設置」はひとつ選択のところを2つ選択して回答したもの

⑬ （居住地域と児童の関わりについて）学校教育・活動として学校が取り組むべき（学習時間から割り振るべき）と思うものを選択してください（複数選択）

（対象者＝366 人　うち無回答 28 人）



⑭（放課後活動について）無料の放課後活動として希望するものを選択してください（複数選択）
（対象者＝366 人　うち無回答 15 人）



※その他 14 件

（希望）

硬筆 22 人、サッカー20 人、書道 16 人、バスケットボール 10 人、バレーボール 10 人、ダンス 9 人、野球 8 人、バドミントン 8 人、水泳 8 人　ほか

⑮（地域活動について）どのような地域行事・活動にこどもを参加させたいですか？（複数選択）
（対象者＝366 人　うち無回答 122 人）

地域の伝統行事など		227 人（太鼓 9 人、獅子舞 9 人、運動会 3 人、ビーチバレーボール 2 人　ほか）	
参加は難しい		106 人※追加のインターネット形式での回答者 21 人については、設問不具合により回答不能	
	（理由）	こども自身の関心が向いていない	51 人
		放課後児童クラブに通っているなどスケジュールが合わない	38 人

令和８年７月13日

保育所・小学校　保護者　様

安芸市教育委員会

小学校移転・統合に関する保護者アンケートについて

小学校移転・統合につきまして、令和８年６月に小学校２校の方針を市長が表明いたしました。この方針に基づく新しい学校に対する皆さまのお考えをお聞きするため、アンケート調査を実施しますので、ご回答くださいますようお願いいたします。

（方針）　・基幹となる小学校を市立安芸中学校東隣に１校を新設
・津波浸水想定区域外の既存の小学校１校を小規模特認校とする

※別紙の「令和８年度　市立小学校の移転・統合方針について」をご覧ください。
※このアンケートは、保育所及び小学校児童の保護者様に依頼しています。

提出先：　　**提出期限：令和８年７月31日（金）**

※整理番号　　

（お問合せ先）　　**安芸市教育委員会学校教育課　35-1021**

以下、アンケート項目　　※該当箇所に ☑ 又は記入してください。

Q1：（居住地について）お住いの小学校区を選択してください（ひとつ選択）

- □ 下山小学校区
- □ 伊尾木小学校区
- □ 川北小学校区
- □ 土居小学校区
- □ 井ノ口小学校区
- □ 安芸第一小学校区
- □ 穴内小学校区
- □ 赤野小学校区

Q2：（児童について）お子様の学年等を記入してください

０歳児クラス～２歳児クラス　□　人　　小学校１年生～３年生　□　人

３歳児クラス～５歳児クラス　□　人　　小学校４年生～６年生　□　人

Q3：（方針について）２校体制の方針（基幹校１校＋小規模特認校１校）についてどのようにお考えですか？（ひとつ選択）

- □ 賛成（進めるべき）
- □ どちらかといえば賛成（どちらかといえば進めるべき）
- □ どちらかと言えば反対（どちらかといえば進めるべきでない）
- □ 反対（進めるべきでない）

Q4：（基幹となる１校について）どのような特色を求めますか（複数選択）

※市立安芸中学校東隣に１校を新設する方針です。

- □ 算数・国語などの習熟度別グループ編成による学習
- □ １クラス複数教員による、わかりやすく楽しい授業
- □ 中学校教員による乗り入れ授業や外部講師による質の高い授業
- □ 多様な考え方にふれ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨できる学習環境
- □ 小中学校の連携した教育・小中学生の交流
- □ 運動会・発表会・音楽会など活気ある行事の充実
- □ 安芸市の歴史・文化・産業を学ぶ地域学習・ふるさと教育の推進
- □ 居住地域の伝統行事・文化・産業を学ぶ地域学習・ふるさと教育の推進
- □ 居住地域との交流の機会の創出
- □ 児童の悩みに寄り添う相談体制の充実
- □ 無料の習い事による放課後活動の充実
- □ その他（　　）

Q5：（基幹となる１校について）どのような施設・設備を重視しますか（複数選択）

- □ 学習環境を重視した施設・設備の整備（専科教室・図書室・ICT 設備など）
- □ 特別支援教育に対応した施設・設備の整備（バリアフリー・個別指導室・相談室など）
- □ 児童同士の交流・活動を重視した施設・設備の整備（多目的ホール・広い廊下・中庭など）
- □ 中学校との共用・連携を重視した施設・設備の整備（体育館・グラウンド・図書室の共用など）
- □ 防災・安全（防犯）を重視した施設・設備の整備
- □ 遊具・運動施設の充実（遊具・運動場・プールなど）
- □ 駐車場・送迎スペースの充実（保護者送迎・来校者用駐車場など）
- □ 地域に開放できる施設・設備の整備

Q6：（小規模特認校１校について）どのような特色を求めますか（複数選択）

※津波浸水想定外区域の既存校のうち１校を小規模特認校とする方針です。小規模校の特性を生かした教育活動を希望する者に対し、一定の条件のもと、区域外からの児童も受け入れます。

- □ 少人数であることを生かした落ち着いた授業
- □ 一人ひとりが主役になれる発表会・プレゼンテーション機会の創出
- □ 役割・活躍の場を多く設け一人ひとりの自信・意欲・主体性を育む取り組み
- □ 縦割り班活動を通じた思いやり・リーダーシップの育成
- □ コミュニケーション能力を高めるための学習やオンラインによる交流
- □ 周辺地域の自然環境を活かした農業体験・自然観察・探究学習
- □ 周辺地域の伝統行事・文化・産業と連携した地域学習・ふるさと教育
- □ その他（　　）

Q7：（スクールバスについて）対象児童・通学距離について適正と考える距離を選択してください。（各学年・距離の全てを選択）

※基準等では、小学校 1～3 年生は 2km まで徒歩、2km 以上でバス
小学校 4～6 年生は 2km まで徒歩、2～4km は自転車、4km 以上でバス

通学距離	1km まで	2km まで	3km まで	4km まで	4km 以上
小学１年生		□ 徒 歩 □ バ ス			
小学２年生		□ 徒 歩 □ バ ス		バ ス	
小学３年生	徒 歩	□ 徒 歩 □ バ ス			
小学４年生		□ 徒 歩 □ バ ス	□ 自転車 □ バ ス	□ 自転車 □ バ ス	
小学５年生		□ 徒 歩 □ バ ス	□ 自転車 □ バ ス	□ 自転車 □ バ ス	
小学６年生		□ 徒 歩 □ バ ス	□ 自転車 □ バ ス	□ 自転車 □ バ ス	

Q8：（スクールバスについて）発着場所についてのお考えを選択してください。（複数選択）

※原案は、現小学校

発着場所	□ 現小学校 □ その他（ ）	□ 公民館
運 用	□ 安全のために、乗降場所に一定人数が集合 □ 乗車場所は、風雨をしのげる建物や構造物に隣接	□ 乗車場所を絞り乗車時間を減らす □ 乗車時間が増えても乗車場所を増やす

Q9：（スクールバスについて）基幹となる小学校への通学に「ごめん なはり線」を併用することについてのお考えを選択してください。（複数選択）

□ 条件により併用可→	（条件） □ 運賃の補助 □ 安芸駅・学校間のスクールバスの運行 □ 学年による
□ 併用すべきでない→	（理由） □ 乗り換えが負担 □ 安全面に不安がある □ その他（ ）

Q10：（放課後児童クラブ（学童）について）希望する設置場所はどこですか？（ひとつ選択）

※新設する小学校の敷地内に併設することを基本としています。

□　新設する小学校の敷地内に併設　　□　津波浸水想定区域外に設置

□　その他（　　）

Q11：（居住地域と児童の関わりについて）学校教育・活動として学校が取り組むべき（学習時間から割り振るべき）と思うものを選択してください（複数選択）

□　居住する各地域のふるさと学習・探究学習

□　居住する各地域への訪問活動

□　居住する各地域の行事・活動への参加

□　居住する各地域住民との交流活動

Q12：（放課後活動について）無料の放課後活動として希望するものを選択してください（複数選択）

□　学力向上のための補習・加力学習

□　書道教室等の文化的活動　（希望：　　）

□　スポーツ活動　（希望：　　）

□　その他（　　）

Q13：（地域活動について）どのような地域行事・活動にこどもを参加させたいですか？（複数選択）

□　地元の伝統行事など（獅子舞、太鼓、習い事など）
（具体があれば：　　）

□　その他　（　　）

□　参加は難しい→　（理由）

□　放課後児童ｸﾗﾌﾞに通っているなどｽｹｼﾞｭｰﾙが合わない

□　こども自身の関心が向いていない

□　その他（　　）

アンケート項目は以上です。ご協力ありがとうございました。

（ご意見があればご記入ください）